

例)を用いた。MEは前者が0.2、後者が0.3、RMSEは前者が1.9、後者が1.4であった。UVインデックスを用いた紫外線対策は第1表に示したようにカテゴリー毎に推奨されている事から、これらの情報は紫外線対策に十分活用出来る精度である。ただし、天気を考慮した予測UVインデックスと解析UVインデックスについては改善の余地があると考えている。

これらの情報の誤差要因であるが、晴天時予測UVインデックスについてはオゾンの予測誤差、エアロゾルの気候値と実況との差などが挙げられる。また、天気を考慮した予測UVインデックスと解析UVインデックスは、晴天時予測UVインデックスに雲による影響をそれぞれの補正係数を乗じて補正したものであるから、これらの品質は天気予測・解析誤差、さらにそれぞれの雲補正係数に依存する。気象庁では今後も検証を行い、更なる精度向上を目指すこととしている。

#### 4. おわりに

気象庁のホームページでは、日々発表される紫外線情報とともに、オゾンと紫外線に関する解説や過去の

観測結果などが閲覧可能となっている。また、オゾン全量予測データと紫外線情報の数値データは、気象業務支援センターを通じて報道機関や民間気象事業者にも入手可能となっている。これらの情報が広く紫外線対策のために利用される事を願っている。

#### 参考文献

- Aoki, Te., Ta. Aoki, M. Fukabori and T. Takao : Characteristics of UV-B irradiance at Syowa Station, Antarctica, 2002 : Analyses of the measurements and comparison with numerical simulations, J. Meteor. Soc. Japan, 80, 161-170.  
 環境省, 2004 : 紫外線保健指導マニュアル (平成16年4月).  
 Shibata, K., M. Deushi, T. T. Sekiyama and H. Yoshimura, 2005 : Development of an MRI Chemical Transport Model for the Study of Stratospheric Chemistry, Pap. Meteor. Geophys., 55, 75-119.  
 Shibata, K. and M. Deushi, 2005 : Partitioning between resolved wave forcing and unresolved gravity wave forcing to the quasi-biennial oscillation as revealed with a coupled chemistry-climate model, Geophys. Res. Lett., 32, L12820.

### 1986年以前の気象集誌掲載論文の著作権の学会への委譲についてお願い

理事会

日本気象学会では(独)科学技術振興機構(JST)の全面的なご協力により、気象集誌(JMSJ)掲載論文を過去に遡って電子アーカイブすることを計画中です。ただし、1986年以前の気象集誌については、著作権の記載が無く、従って、この期間の論文の著作権は著者にあります。本来ならば、すべての著者に論文の電子アーカイブの許諾を求める必要があります。しかし、それは現実にはほとんど不可能です。

このため、1986年以前の気象集誌掲載論文のすべての著者に対し、当該論文の著作権を気象学会に委譲されることをお願いいたします。ただし、アーカイブを希望されない論文については、お知らせいただければ対象から除外します。この取り扱いについて、ご質問、

ご意見がある場合は、気象学会事務局宛お知らせください。2006年4月末日までを意見のお申し出期間とし、ご異論がなければ、1986年以前の気象集誌掲載論文についても著作権を学会に委譲されたものとして、電子アーカイブの対象といたします。なお、このお願いは“天気”、“気象集誌”を通じて行うほか、気象学会ホームページにも掲示します。

気象集誌の電子アーカイブ事業は研究の便宜を図るのみならず文化的にもたいへん意義のある事業です。気象学会会員及び気象集誌の著者のご理解とご協力をお願いいたします。

2005年11月20日